

幼児教育研修（年齢別担任研修4歳児 第1回）

受講者数 91名

日時 令和4年5月27日（金）15:00～17:00

場所 竹の塚地域学習センター

講師 和泉短期大学 児童福祉学科 教授 松山 洋平 氏

**【内 容】～子どもの発達と保育者の関わりについて～**

「保育観・子ども観・発達観」は、保育者がこれまで身に付けてきた固定的な見方を基準にしがちです。子どもは豊かな感覚で生きている敬意をはらうべき存在であり、子どもを尊厳ある人間としてみるためには、保育者は新たな価値観や多様な見方を受け入れることが大切です。主体的・対話的な深い学びを支える保育環境や、プロセスの質を上げる視点について学びを深めます。

**【受講者の感想】****\* 研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか**

- ・子どもを尊厳ある人として見ることや、対話の大切さを知り、心がけていこうと思った。また、遊びや生活の中で、子どもたちが自発的に取り組めるような働きかけや環境作りも大切だとわかり、保育に取り入れていきたい。
- ・子どもに教えるのではなく、子どもと応答する保育を実践していきたいと思った。子どもの興味関心に、耳や目を傾けていきたい。
- ・今までの経験や固定化された見方を見直し、新しい価値観や多様な見方を取り入れて保育をしていきたいと思う。
- ・「できない」「わからない」「すべき」など、大人のものさしで子どもの行動を決めてしまうのではなく、どうしてこの行動をしているのかを、子ども側に立って考えていきたい。
- ・子どもの発見、感動している場面に共感し、「センス・オブ・ワンダー」を大切にしていきたい。
- ・子ども同士のトラブルの際、大人が介入しすぎて学びの機会を奪っていることを学んだ。子ども同士の話し合いで折り合いをつけ、お互いが納得できるような見守りをしていきたい。